

「運転ボランティア」への登録のお願い

矢野町でも潜在的に、外へ買い物に行きたくても手段がなくて行けない。毎回家族に頼むのは気兼ねする。そういう方が少なからずいらっしゃるのではないのでしょうか。

今、社会では、過疎地域の足として自家用車を活用する「ライドシェア」という考え方が広がりつつあります。矢野町の「お買い物同行サービス」も、この考えに沿うものです。

世の中には誰かの役に立ちたいと思っている人は、少なくありません。矢野町でも、特に定年を迎え、時間と余裕ができれば地域や人の役に立つことをしたいと思われている方は、おられるのではないかと思います。

「ボランティア」というと、近年の自然災害から、それこそ災害地に赴いて被災者を助けるというイメージがあります。しかし、ボランティアはしたいけど「ちょっとそこまでは」と、思われる方もおられるでしょう。ボランティアという言葉は本来「自発性」を意味します。ボランティアは何も大きなことだけがボランティアではありません。それこそ身近なところから身近な人のために「自発性」をもって取り組むことが、ボランティアといえます。

ちょっと差し伸べた手に、身近な人から「ありがとう」といわれる。その時「ああ、お役に立ててよかった」とうれしさがこみ上げてきます。お互いの心の中に温かいものが生まれます。ボランティアとは、金銭に替えられないこういう心の幸福や満足感を得るものではないのでしょうか。支え合いの中から生まれる温もりで、地域が包まれてほしいと思います。

そういうわけで、「お買い物同行サービス」がこれからも続けていけるかどうかは、運転ボランティアにかかっています。ぜひ、一人でも多くの方が運転ボランティアに登録していただければうれしく思います。

矢野町は、今後ますます高齢化が進み独居世帯が増え、体力も低下していく中で自ら交通手段を確保できない方が多くなっていくでしょう。明日は我が身ということにもなってきます。比較的若くて元気な高齢者が先輩高齢者を支える。そのような、地域が持続できる世代の循環を創造していきたい。矢野町の「お買い物同行サービス」が、そのモデルになっていくことを願っています。

矢野町まちづくり推進委員会
コミュニティ支援員 古賀弘一